

講義名	日本語総合B			授業形態	
担当教員	石橋 明子	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	JPN101
主題と概要					
大学生活や日常生活において必要とされる日本語の基礎的かつ総合的な読解力をつける。この授業では、読解が中心となるが、内容の理解に終わるのではなく、その内容について自分の意見を述べたり、文章にまとめたりもする。また、読んだ文章を要約する作業も併せて行う。					
到達目標					
・大学の授業や日常生活のあらゆる場面において必要とされる日本語の読解力をつけ、その内容が理解できるようになる。 ・文章内から必要な情報を取り出すことができるようになる。 ・文章の内容について、自分の意見を述べることができるようになる。 ・文章を適切な字数で要約することができるようになる。					
提出課題					
授業内で読んだ文章の要約、意見文などを書く課題を出す。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
宿題や授業内で行った課題は、添削して返却する。					
評価の基準					
課題提出（2 0％）、授業への参加度（2 0％）、復習確認問題（3 0％）、理解度確認問題（3 0％）などをもとに総合的に判断する					
履修にあたっての注意・助言他					
毎回の授業で出席をとる。欠席が1/3を超える学生は単位を与えることができないので、注意すること。 授業中は、私語を慎み、積極的な参加を望む。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.4技能でひろがる中級日本語カルテッド1.		坂本正昭他、安井朱美、井手友里子、土居美有紀 .浜田真由	ジャパンタイムズ	3300	9784789016957

その他

プリント資料等は必要に応じて配布する。

授業計画

第 1 回 授業の説明（授業の進め方・スケジュール、評価の方法、注意事項）
予習内容：シラバスを熟読しておくこと(90分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(150分)

第 2 回 日本を代表する有名人①
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 3 回 日本を代表する有名人②
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 4 回 メールと手紙①
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 5 回 メールと手紙②
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 6 回 日本を楽しむ①
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 7 回 日本を楽しむ②
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 8 回 中間の復習確認問題
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 9 回 外国での経験①
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 1 0 回 外国での経験②
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 1 1 回 和食のすすめ①
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 1 2 回 和食のすすめ②
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 1 3 回 日本社会への声①
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 1 4 回 日本社会への声②
予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読むこと(120分)
復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること(120分)

第 1 5 回 期末の理解度確認問題

授業形態（アクティブ・ラーニング）

☐ ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の 4 技能のうち、特に読むことについて実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考